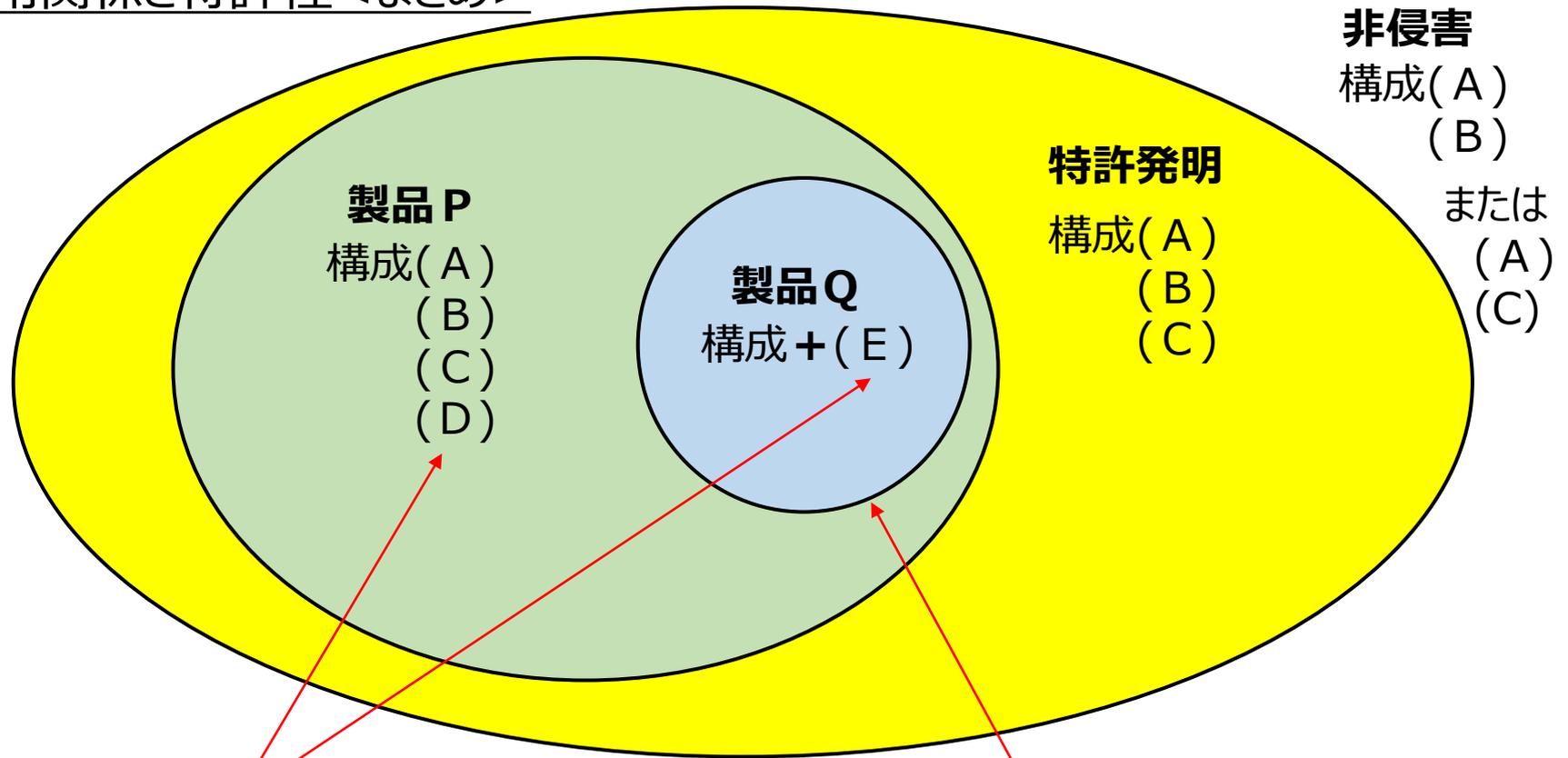


利用関係と特許性<まとめ>



構成 D、E に新規性・進歩性あれば、
特許化可能性あり。⇒利用発明

製品 P が特許化されると、製品 Q が特許化
できても、2件の特許の実施許諾等がないと
製品化できない。